

3 火元別初期消火のポイント

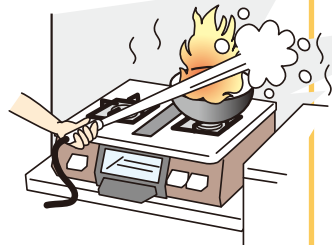
電気製品から出火したら

感電の危険あり。必ずプラグを抜くか、ブレーカーを切ってから消火する。



油なべに火が入ったら

- ① ガスの元せんをしめる。
- ② 消火器を使うときは、油が飛び散らないように、なべのふちからかぶせるようにしてかける。
- ③ 消火器がないときは、大きなフタを手前からすべらせるようにかぶせて空気を断つ方法や、ぬれシーツなどを一気にかぶせて油温を下げる方法をとる。



石油ストーブから出火したら

- ① ストーブを倒してしまったら、ぬれぞうきんなどを使って引き起こす。無理ならば、そのまま消火してもよい。
- ② 消火は、ぬらした毛布などをかぶせてから水をかける。



カーテン、ふすま、障子などに火がついたら

- ① 火が小さいうちは、水をたたきつけるようにかける。立ち上がっている火には、上のほうをめがけて、半円を描くように水をまく。
- ② 水が間に合わなければ、カーテンはひきちぎり、障子やふすまはけ倒して足で踏んで消してもよい。

